

樹木と都市環境 公開シンポジウム

いま地球規模での温暖化とそれにもなう災害が大きな問題になっています。都市ではヒートアイランド現象が温暖化を増幅しています。このシンポジウムでは、街中に残っている樹木や土の地面に目を向けて、その保全の意義を考えます。また先進的なドイツの都市での取り組みを学び、鹿児島に住む私たちの課題を考えます。

2019年
12月 21日 土
午後 1時30分
～4時30分

参加無料
どなたでも
参加できます



はじめに「緑地の消失による都市の砂漠化」

佐藤 正典（鹿児島大学 理学部教授）



講演1 「ままとりの緑 ~点から線へ、そして面へ~」

野崎 勉（鹿児島大学 名誉教授/環境カウンセラー）



講演2 「ドイツの樹木保護と都市環境」

中島 大輔（鹿児島大学 法文学部教授）



全体討論

会場

勤労者交流センター
第1会議室
イオン鹿児島中央店7階



主催 シンポジウム「樹木と都市環境」実行委員会
共催 日本科学者会議 鹿児島支部
後援 鹿児島大学教職員組合、鹿児島日独協会

問い合わせ先 佐藤正典
☎ 099-285-8169
✉ sato@sci.kagoshima-u.ac.jp